

「お客様本位の業務運営」に関する取り組み状況

2025 年 12 月 31 日現在

ロベコ・ジャパン株式会社は「お客様本位の業務運営に関する方針」に基づき、同方針に基づく取り組みを実施しております。

現時点での具体的な取り組み状況は以下の通りです。

【お客様本位の業務運営】

・「お客様本位の業務運営」がなされているかにつき原則年に1回の見直しを行い、実施状況について公表いたします。

【お客様の最善の利益の追求】

・投資目的、運用目標に関するお客様との合意に基づいて運用目標が達成されているかどうかを定期的にモニターします。

⇒月次の投資運用会議において、運用部門の担当者と代表取締役が、お客様の運用財産の運用状況をモニターし、運用目標に達しているか、運用目的に合致しているか等、様々な議論と検証を行っています。

⇒運用部門、営業部門が週1回の会議において、運用情報、顧客情報を共有することにより、お客様の要望への対応と運用面の対応を迅速に協議できる体制を整えています。

・環境・社会・ガバナンス(ESG)基準を大多数の運用に統合しています。

⇒1990年代からサステナビリティ統合に取り組んでまいりました。ロベコは運用戦略にESG要因を統合して提供しており、ESGを統合した運用資産総額は、2025年12月時点で3,349億ユーロ(約61.651兆円:1ユーロ=184.08917円で換算)に達しています。

・2020年12月に、2050年までに投資に伴う二酸化炭素排出量ゼロを宣言しました(ネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアティブ)。

⇒ 2025 年においてもネットゼロ達成に向けた取り組みを継続し、ポートフォリオの脱炭素化および企業とのエンゲージメントを通じた排出削減を推進しています。

・欧州連合 (EU) のサステナブルファイナンス規則 (SFDR) に基づき、ロベコのほぼすべてのファンド (98%) がサステナビリティ特性に適合するファンドとして分類されました。

・2025 年、投資プロセスへの環境・社会・ガバナンス (ESG) 要因の統合を、測定可能で運用可能な水準へと引き上げました。特に、自然資本および社会課題に関して、定性評価から一歩前進し、投資判断やエンゲージメントに活用可能な独自ツールの開発を進展させました。生物多様性分野では、生物多様性信号 (段階別) 評価モデルを導入し、企業の自然への影響および移行状況を評価する枠組みを構築しました。また、社会面では、社会課題信号 (段階別) 評価モデルを通じて、人権や労働慣行等に関する企業評価を体系化しました。これらをアクティブ・オーナーシップと連動させ、進捗管理および成果測定を通じて、エンゲージメントの質的向上を図りました。

・2025 年、シェアアクション (ShareAction、英国を拠点とする調査機関) が世界の手資産運用会社 76 社を対象に実施した責任投資に関する調査*において、ロベコは 3 年連続で評価第 1 位となり、A 評価を獲得しました。

*ガバナンス・スチュワードシップ、気候、生物多様性、社会といった主要なサステナビリティ項目に関する設問および評価基準に基づき、調査対象企業からの回答および公開情報をもとに、シェアアクションが評価したものです。

・議決権行使及びエンゲージメント

⇒ロベコの質の高いアプローチは、国連責任投資原則 (UNPRI) の 2024 年の年次評価において、評価対象の全項目で最高評価 (5 つ星) を獲得しました。

⇒ロベコは企業行動に影響を与えることを目指し、2025 年は 280 社との積極的な対話を実施するとともに、6,374 件の株主総会における議決権行使を通じて、企業に対して変化を促しました。

[重要な情報のわかりやすい提供・手数料の明確化]

・提供する運用商品・サービスに関する情報（投資戦略、投資方針、リスク、リターン、お客様の負担する手数料など）について、提供する商品・サービスやお客様の属性に応じて、適切でわかりやすい説明を心がけます。

⇒当社のお客様は年金基金、学校法人、金融機関等の適格機関投資家に限定されるため、直接のヒアリングを通じて、お客様のニーズや金融知識、投資経験をしっかりと把握し、顧客管理シートに基づいて、各お客様に応じた説明や資料の提供を行っています。お客様の負担する手数料やリスクなどの重要な情報についても、適用される法令等に則り、わかりやすく伝える工夫をしています。

・勧誘資料、情報提供資料の見直しを行い、商品の特性や仕組み等のわかりやすい説明の提供を心がけます。

⇒より分かりやすい表現を用い、データやグラフ、図表も、本邦のお客様のニーズに合致するように工夫しています。海外グループ会社の作成した資料は原則全て和訳・調整を施しますが、お客様の属性やご希望に応じて、スピードを重視し、英文のまま提供することもあります。

【お客様にふさわしいサービスの提供】

・お客様に市場やロベコの金融商品に対する情報を提供するように努めます。

⇒お客様の資産運用に役立つための情報提供のために、当社グループの運用プロフェッショナルが執筆した時宜を得たレポート等のコンテンツを、随時当社ウェブサイトに掲載します。特に本邦のお客様の関心が高く、有益と思われるテーマのレポートについては、迅速に和訳版を掲載するほか、日本語で制作したコンテンツも公開しています。2025年1月1日～2025年12月31日では25本の日本語記事が掲載されました。

⇒同様に、オルイン Web にも 2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に 18 本のレポート等を投稿しました。

⇒上記は配信メールにより、個別のお客様にもタイムリーにお届けします。2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日では 29 本配信しました。

⇒特に欧州系でESG関連に実績があることから ESG 関連の情報や商品については、コンテンツの充実を図っております。

⇒ロベコのグループ会社の主催するオンラインセミナー等を通じて積極的に情報提供を行います。

⇒ロベコのグループ会社によるグローバル・セールス・ミーティングに営業担当者が参加し、随時ロベコの運用商品についての研修を受け、知識と理解を深めています。

⇒グループ会社がマザーファンドを運用する国内で販売されている投資信託について、またグループ会社が国内委託会社より委託されて運用する戦略について、販売会社に対して、また、国内委託会社に対して、より商品の理解を深めてもらうための情報発信を活発に行っています。

(実施実績)

2025 年	国内委託会社向け商品勉強会:5 回 販売会社向け勉強会:27 回
--------	-------------------------------------

[利益相反の適切な管理]

・利益相反の適切な管理のために従業員の「利益相反管理」に対する理解を深めます。

⇒ロベコ・グループ共通の Code of Conduct への年次サインオフを全従業員から取得し、理解と再確認の機会を設けています。また、グループの Conflict of Interest Policy は適宜更新を行っており、従業員への研修も行っています。

[従業員に対する適切な動機づけの枠組み等]

・従業員が顧客の最善の利益を追求するべく当社ビジネスに従事する動機付けをより強くするため、報酬・業績評価体系を整備しています。

⇒ロベコ・グループでは、グローバルで Remuneration Policy を定めています。このポリシーはビジネス上の戦略や長期目標、会社の企業価値観および投資収益を追求する姿勢と、投資家・お客さまとの間の利益が整合するよう設計されたものです。また、従業員の評価についても、透明性を高めるようグループ・レベルで取り組んでいます。

当社では、このグローバル・ポリシーを踏まえ、日本の雇用制度や業界動向を考慮した上で、当社役職員に適用される報酬・業績評価体系を整備しています。

⇒随時、従業員研修を行い、本原則を含め本邦の関係する監督当局や資産運用業協会の方針や動向を、それら機関によって作成された研修資料等を用いながら、全従業員に伝えています。上記に加えて毎年、ロベコのグループ会社によるグローバル・セールス・ミーティングに当社の営業担当者が参加し、随時ロベコの運用商品についての研修を受け、最新の知識と

理解を深めています。ロベコ・グループによる研修については、上記に加えて、随時、グループ会社全体を対象とした、オンライン研修が実施されており、当社従業員も受講しています。2025 年には以下のオンライン研修を従業員が受講しました。

実施時期	オンライン研修内容
2025 年 1・8・12 月	顧客のサステナビリティ・アセスメント
2025 年 1・8・9・12 月	新入社員向け総合コンプライアンス・トレーニング
2025 年 1 月	個人情報保護
2025 年 6 月	利益相反防止
2025 年 11 月	資金洗浄・テロ資金供与対策及び制裁

・従業員の業務を支援・検証する体制をとっています。

⇒従業員に対し、半年に一度、外部機関によるエンゲージメント・サーベイ(調査)を実施し、定期的にそのフィードバックも含めて HR が従業員と個別面談を行う等、従業員の働き方の実態の把握や改善に役立てています。